

令和6年度 よこはま子ども 国際平和プログラム 報告書



令和7年3月

よこはま子ども国際平和プログラム実行委員会

協賛：株式会社オカムラ・横浜冷凍株式会社・ウエインストヨタ神奈川株式会社

Yokohama Children's Peace Message 2024

The 2024 Paris Summer Olympics and Paralympic Games. A place where people overcome their differences in culture, nationality, and other obstacles, respect each other and compete with a spirit of fair play through sports. It felt that the world peace we had always hoped for had come true and the world seemed to be as one.

Yet, as we look around the world, wars and conflicts continue to happen. While the dreamlike celebration is taking place in Paris, children our age are losing their lives at the same moment. There are poor children around the world who cannot get enough nutrition, children who want to learn but cannot go to school, and children who suffer because their existence is not respected. How many people think about these children, take it to heart, and try to act accordingly?

Let's get to know people who have different opinions, learn to see things from a different point of view, respect the opinions of minority, and value the people around us. As children, there are many things we can do. The future of world peace is in the hands of each and every one of us.

We want the world to hear our voice. We will think and act to achieve world peace. Believe in a united world.

2024 Yokohama Children's International Peace Program Members

よこはま子どもピースメッセージ2024

2024年夏、「パリオリンピック・パラリンピック」。スポーツを通じて、文化・国籍・障害などの違いを乗り越え、互いを尊重し、フェアプレーの精神をもって競い合う場。応援者や参観者も、国を問わず選手たちの健闘を祈る場。そこでは、私たちが望み続けている「世界平和」が実現し、世界が一つになっているように感じました。

しかし、世界を見渡すと、戦争や紛争は相変わらず続いています。パリで夢のような祭典が行われている瞬間に、私たちと同じような歳の子どもたちが命を落としているのです。貧困で十分な栄養をとれない子どもたち、学びたくても学校にいけない子どもたち、存在を尊重されず苦しんでいる子どもたちが世界中にいます。そういった子どもたちのことを、一体、どれだけの人が自分のこととして考え、行動しようとしているのでしょうか。

自分と意見が違う人のことを知ろうとすること、色々な見方で物事を見ること、少数の意見を尊重すること、身近にいる人を大切にすること。子どもである私たちにも、できることはたくさんあります。これからの「世界平和」は、私たち一人ひとりの手にゆだねられているのです。

どうしても今、世界に伝えたい。「世界平和」を実現するために、私たちは考え、行動します。世界はきっと一つになると信じて。

令和6年度 よこはま子ども国際平和プログラム子ども実行委員

この「よこはま子どもピースメッセージ2024」は、38名の子ども実行委員が自分たちにできることを呼びかけようと思いを出し合って作成し、ニューヨークの国際連合本部等に届けました。

概要

本事業は、昭和 61 年度から平成 9 年度まで 12 回（12 年間）にわたって開催された「よこはま子ども国際平和フェスティバル」の趣旨を生かし、平成 10 年度に「よこはま子ども国際平和プログラム」と改めました。本市では、この事業を国際理解教育の一環として位置付け、横浜市内の児童生徒の国際平和への意識を高めるとともに、国際平和の大切さを、市民をはじめ広く世界に呼びかけるために行っています。

令和6年度は、例年実施している「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」「子ども実行委員会」「よこはま子ども国際平和募金」「よこはま子どもピースメッセンジャー国際連合本部等派遣」に加え、「よこはま子ども国際平和シンポジウム」を初開催しました。これらの取組を通して“国際社会で自分たちにできること”を考え、発信し、行動することができました。

「よこはま子ども国際平和プログラム」事業内容

活動内容

「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」で各区の選考及び事務局審査を経て本選に出場した児童生徒 38 名全員が「よこはま子ども国際平和プログラム子ども実行委員」として委嘱され、活動します。

また、本選で市長賞を受賞した小学生2名、中学生2名は、「よこはま子どもピースメッセンジャー」としても委嘱され、活動します。

日程	活動内容	子ども実行委員の活動	ピースメッセンジャーの活動
8 月	子ども実行委員・子どもピースメッセンジャー委嘱式 第1回子ども実行委員会	○	○
9 月	ユニセフ東京事務所・日本ユニセフ協会訪問 ユニセフハウス施設見学		○
10 月	ニューヨーク国際連合本部等訪問・会談 国連国際学校 (UNIS) 体験入学		○
11 月	山中横浜市長への活動報告		○
12 月	よこはま子ども国際平和シンポジウム		○
	第2回子ども実行委員会	○	○
	日本ユニセフ協会 ユニセフハウス施設見学	希望者	希望者
	神奈川県ユニセフ協会 「ハンド イン ハンド」街頭募金活動、オンライン募金	希望者	希望者
1 月	横浜市 ESD 推進コンソーシアム交流報告会		○
令和7年 7 月	よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト司会・ 前年度の活動報告		○
令和7年 8 月	子ども実行委員・ピースメッセンジャー委嘱式司会 (前年度小学校の部市長賞受賞者)		○

● よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト

- 1 応募者数 41,812名(小学生29,117名 中学生12,695名)
- 2 参加校数 483校(小学校338校、中学校145校)
- 3 対 象 横浜市内小学校、中学校、義務教育学校、特別支援学校
- 4 テー マ 「国際平和のために、自分がやりたいこと」
(「SDGs」17の目標に関連付ける)
- 5 経 過 令和6年4月下旬から 出場者募集
5月中旬～6月中旬 スピーチ原稿作成・校内選考
6月中旬～7月上旬 区審査会・事務局審査

6 本 選

- (1) 開催日 令和6年7月22日(月) 中学校の部 19名出場
7月23日(火) 小学校の部 19名出場

※各区代表児童生徒(各18名)及び私立学校代表児童生徒(各1名)

- (2) 会 場 南公会堂

- (3) プログラム スピーチ 子どもピースメッセンジャー活動報告



【市長賞 受賞者】



志村 優妃



加藤 夢丸



林 睿騰



イグウェ ケイト 友菜

【教育長賞 受賞者】



吉田 優



中井 瑠美奈



鈴木 歩々実



堀切 さくら

【審査委員長賞 受賞者】



ウェドロック さくら



横山 泰例



青木 俐心



浅見 音羽

●「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」本選出場者（子ども実行委員）一覧

<小学校の部>

市長賞	鶴見	市場小学校けやき分校	志村 優妃	みんなが安心して生活できる世界に
	金沢	大道小学校	加藤 夢丸	恐怖のない世界にするために
教育長賞	保土ヶ谷	桜台小学校	吉田 優	もう一人の家族
	青葉	奈良小学校	中井 瑠美奈	世界を「感謝」でいっぱい
審査 委員長賞	南	中村小学校	ウェドロック さくら	みんな違って、いいんだよ
	港北	師岡小学校	横山 泰俐	みんなが胸を張って生きられる世界へ
優秀賞	神奈川	神奈川小学校	鄭 晨曦	私たちはともだち
	西	西前小学校	今井 花	私の家のかまぼこ屋
	中	元街小学校	松村 一葉	出会った人 一人ひとりを認め合う、優しい心があふれる世界へ
	港南	相武山小学校	林 璃子	まちのみんなひとつになあれ
	旭	希望ヶ丘小学校	塚本 佳蓮	誰もが平等である社会へ
	磯子	浜小学校	三屋 輝実	どんな人でも平等に
	緑	新治小学校	渡邊 那々佳	選択肢の裏側
	都筑	勝田小学校	福田 栞那	未来に繋がるヘアドネーション
	戸塚	上矢部小学校	金子 愛花里	誰にでも親切な対応を
	栄	千秀小学校	篠原 希咲	知ること笑顔になる社会へ
	泉	新橋小学校	布施 輝海	見方で“世界”は変わる
	瀬谷	三ツ境小学校	宇田川 莉桜	みんなでゴミを減らすために
	私立	横濱中華學院	服部 譜	僕たちの世界は僕たちが変える

<中学校の部>

市長賞	鶴見	潮田中学校	林 睿騰	違いが救った命
	保土ヶ谷	西谷中学校	イグウェ ケイト友菜	知る責任と語る責任
教育長賞	神奈川	錦台中学校	鈴木 歩々実	未来のあたりまえ
	青葉	山内中学校	堀切 さくら	きょうだい児の私が繋ぐ未来への架け橋
審査 委員長賞	南	藤の木中学校	青木 俐心	伝えたい事
	都筑	中川西中学校	浅見 音羽	海から届いたメッセージ
優秀賞	西	岡野中学校	三岡 ひなた	当たり前の明日、当然の幸せ
	中	横浜吉田中学校	田中 愛香里	幸せに生きていける未来へ 今自分に出来ること
	港南	南高等学校附属中学校	山口 花	考え続けること
	旭	左近山中学校	林 美里	一人ひとりが変わることで
	磯子	洋光台第二中学校	竹本 桜	能登半島地震が教えてくれたこと
	港北	大綱中学校	西村 信一郎	ヒロシマの青い空の下で
	緑	霧が丘学園中学部	成田 彩音	平和を永遠にするために
	金沢	釜利谷中学校	佐々木 瑛美	向き合うこと、尊重すること
	戸塚	豊田中学校	小野塚 ななほ	最初の一粒
	栄	小山台中学校	鈴木 優日	私たちができること
	泉	岡津中学校	加藤 冴弥	私が伝えたいこと
	瀬谷	下瀬谷中学校	木下 彩月	誰もが安心して暮らせる世の中にするために
	私立	公文国際学園中等部	石樽 沙衣	誰もが暮らしやすい社会

●子ども実行委員・子どもピースメッセンジャー委嘱式

令和6年8月23日(金) 横浜市庁舎レセプションルーム

「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」の本選に出場した38名が「子ども実行委員」として山中市長から委嘱を受けました。なお、市長賞を受賞した小学生2名、中学生2名は「子どもピースメッセンジャー」としても委嘱を受けました。



●「子ども実行委員」の活動

★子ども実行委員会

38人の子ども実行委員で議論をしながら、国際平和への思いをこめた「よこはま子どもピースメッセージ2024」や「よこはま子ども国際平和募金呼びかけ動画」の作成などを行いました。

第1回 令和6年8月23日(金)

「よこはま子どもピースメッセージ2024」の作成

作成したピースメッセージは、ニューヨーク国際連合本部、国連日本政府代表部等に進呈しました。よこはま子ども国際平和シンポジウムでは、市民をはじめとした多くの参加者に向けて、ピースメッセンジャーが英語で発信しました。また、市内の小・中・義務教育・特別支援学校に配布する報告書に掲載しました。



第2回 令和6年12月13日(金)

「よこはま子ども国際平和募金」呼びかけ動画の作成、子どもピースメッセンジャー活動報告、講演「世界の飢餓問題と国連WFPの活動」(国際連合世界食糧計画WFP協会)

作成した募金呼びかけ動画は、市立小・中・義務教育・特別支援学校及び私立学校の子ども実行委員所属校へ公開し、各学校の国際平和への取組の中で活用されました。



★日本ユニセフ協会「ユニセフハウス」施設見学



都内にある日本ユニセフ協会「ユニセフハウス」に子ども実行委員の有志が訪問して、世界の子どもの現状を学び、国際平和について考えました。

実施日：令和6年12月14日(土)

★神奈川県ユニセフ協会「ハンド イン ハンド」街頭募金活動、オンライン募金参加

第2回子ども実行委員会にて、「よこはま子ども国際平和募金」呼びかけ動画を作成しました。横浜市内の学校に公開して各学校での平和募金の呼びかけに役立てたり、神奈川県ユニセフ協会のホームページでも公開したりして、国際平和への想いや募金の大切さを呼びかけました。また、街頭募金活動に子ども実行委員の有志が参加し、桜木町駅前で、市民に向けて国際平和の大切さを熱く呼びかけました。

実施日：令和6年12月14日(土)



★各学校での取組

- ◎国際平和募金活動でユニセフ募金など各種募金の呼びかけ
- ◎全校集会・学年集会・テレビ放送・ポスター・学校だより等での発信
 - ・自身のスピーチやピースメッセージについて
 - ・活動を通して学んだSDGs達成状況や世界の現状について
 - ・子ども実行委員及びピースメッセンジャーの活動について など

◎その他の取組

小中学校合同挨拶運動／能登地震募金活動／ECO市の開催／
WFPレッドカップキャンペーン・ごちそうさまチャレンジの紹介／
「よこはま子ども国際平和シンポジウム」へ学年全員でオンライン参加／
給食の残しを前日より少なくする取組／駅前ユニセフ募金／
ごみを利用したモノづくり／劇やランキングで食品ロスを減らす活動／
フードドライブ活動への参加／古着の寄付／多言語でのあいさつ活動／
子ども実行委員作成「募金呼びかけ動画」を全校で視聴／
日頃の会話の中で、世界の現状やボランティアの楽しさについて話題にした



<活動を通して感じたこと>

【新たな学び】

○子どもでも、世界へ発信する影響力があることを知りました。子どもだから何できないと思いこんでいたけど、自分達にできることはたくさんあり、行動していなかっただけだと感じました。

○世界には、苦しんでいる自分と同じくらいの年齢の子どもたちが、たくさんいることを知りました。そういう子どもたちのためにも、活動をしていきたいと強く思いました。

○活動の中で聞いた「子どもの訴えには大人の気持ちを動かす力がある」という言葉が強く心に残りました。私たちだからできることに、より積極的に取り組みたいと思いました。

○飢餓や貧困や戦争などを遠いものと感じていたけど、子ども実行委員としての活動を通して、それらは自分の生活と地続きのものであると気付くことができました。

○ユニセフハウスを訪れたり募金活動を行ったりして、もっと世界の子どもたちを救いたい、幸せになってほしいと思うようになってきました。



【仲間との関わりを通して】

○子ども実行委員のみんななどの話し合いを通じて、国際平和という同じテーマでも、自分とは違う様々な視点があることを知りました。それぞれの経験から生まれる多様な考えを理解しようとするのが大切だと感じました。

○スピーチをしたり、原稿を考えたりしている時は、自分の考えにしか目が向いていなかったけど、Blue Voice の仲間と世界平和について考えを深め、行動することで視野が広がり、世界のためにもっと何かしたいという思いが高まりました。

○様々な世界の課題について、深く考えている人はたくさんいて、それぞれ考え方も違うことを知り、この地球を良くしていく方法は数多くあると感じました。

○国際平和や SDGsなどを意識して行動することは気恥ずかしいことだと思っていたけれど、世界のために働く人の話を聞き、志ある同年代の仲間と接したことで、自分たちにもできる身近なことだと考えるようになりました。

【これからの自分】

○子ども実行委員のメンバーと議論しながら活動することで、視野が広がり、新しい価値観を得ることができました。これから、自分には何ができるのか、どのように広げていくのか考え続け、行動を継続していきたいです。

○ユニセフ募金の活動で、自分の小さな声かけが募金につながった経験をしました。、今後は、小さなことでも行動できるようにしていきたいです。

○人と意見交換することは楽しいことで、なにより大切なことだと感じました。これからも、色々な人の意見を聞いて、一緒に解決していくようにしたいです。

○活動を通じて、世界は僕たちが思っているほど平和ではないし、それに気づく人が少ないと感じました。これからは、一人でも多くの人に世界に目を向けてもらえるように、周りを巻き込みながら行動していきたいです。



●「よこはま子どもピースメッセンジャー」の活動

スピーチコンテストで市長賞を受賞した小学生2名・中学生2名が以下の活動を行いました。

★ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会訪問

訪問日：令和6年9月26日(木)

内 容：(1) ユニセフ東京事務所 代表 ロベルト・ベネス氏と会談

※令和5年度「よこはま子ども国際平和募金」(7,298,347 円)

の目録と「よこはま子どもピースメッセージ 2024」を進呈

(2) 日本ユニセフ協会 学校事業部長 金子雅彦氏と会談

ユニセフハウス施設見学



★ニューヨークの国際連合本部・ユニセフ本部・国連国際学校 (UNIS) 訪問及び交流等

派遣期間：令和6年10月13日(日)～10月20日(日)

主な活動：(1) 国際連合本部等へ訪問

○「よこはま子どもピースメッセージ」を発表・伝達

○山中横浜市長から国連事務総長あてのメッセージを進呈

○令和5年度「よこはま子ども国際平和募金」(7,298,347 円)の目録進呈

○国連関係者との対談

- ・ 国際連合副事務総長 アミナ・J・モハメッド氏
- ・ 国際連合事務次長 軍縮担当上級代表 中満 泉氏
- ・ 国際連合人権高等弁務官 フォルカー・トゥルク氏
- ・ 国際連合事務総長補佐、国際連合国際学校 特別代表 リサ ブッテンハイム氏
- ・ 国際連合開発計画 (UNDP) 事務総長補佐 行政次官補 危機局長 野田祥子氏
- ・ 国際連合経済社会局 インクルーシブ社会開発部門 主任 小野 舞純氏
- ・ 国際連合教育科学文化機関 (ユネスコ) 上級連絡員 リリー・グレイ氏
- ・ 国際連合日本政府代表部 公使 森 尊俊氏 一等書記官 宇川 優 氏

(2) 国連国際学校への体験入学・交流



国際連合事務総長補佐



国際連合副事務総長



国際連合経済社会局



国際連合教育科学文化機関



国際連合事務次長 軍縮担当上級代表



国際連合日本政府代表部



国際連合人権高等弁務官



国際連合開発計画

＜派遣を終えたピースメッセンジャーの声＞

- 国連で会った方々が共通しておっしゃっていたことは、「人とのつながり」や「コミュニケーション」の大切さでした。自分と意見がちがうから話さない、とか、この人は苦手な人だから話さないといった考え方ではなく、自分と違うからこそ知ろう、と考え、行動していこうと思います。
- 国連での会談で学んだことは、「自分を信じて行動を起こすこと」「視野を広げること、そのために積極的に新しい物事に触れること」でした。一つひとつ実行に移していきたいです。
- この派遣の経験を、多くの人に伝え、一人でも多くの方が、積極的に新しい物事に触れられるようにしていくことが、自分の使命だと思います。
- 自分の能力を知り、今、自分に何ができるか考え、社会のために貢献できることを考えたいです。



★山中横浜市長への活動報告

- 実施日：令和6年11月26日(火)
内容：ニューヨーク国連本部等派遣の報告



★横浜市 ESD 推進コンソーシアム交流報告会参加

- 参加日：令和7年1月25日(土)
内容：ニューヨーク国連本部等派遣の報告
ESD推進校の児童生徒と ESD の取組について協議



●よこはま子ども国際平和シンポジウム

- 実施日：令和6年12月9日(月) 午前
目的：「よこはま子ども国際平和プログラム」を通した子どもたちの声と、国際平和のために活動している大人たちの声を聞き、子どもと大人が共に国際平和を考える。
- 参加者：〈会場〉子どもピースメッセンジャー所属校児童・教職員、一般市民
〈オンライン〉市内小中学校児童生徒(希望制)、
広島市教育委員会事務局指導主事
- 内容：山中市長挨拶
「よこはま子ども国際平和プログラム」の紹介
よこはま子どもピースメッセージ発表
子どもピースメッセンジャー国連本部等派遣報告
アミナ・J・モハメッド国連副事務総長ビデオメッセージ
基調講演(国連大学上級副学長・国連事務次長補
白波瀬 佐和子氏)
パネルディスカッション(登壇者：子どもピースメッセンジャー、横浜サイエンスフロンティア高校 浅沼 貴子さん、国連世界食糧計画 日本事務所代表 津村 康博氏、ANA ホールディングス株式会社 上席執行役員 宮田 千夏子氏)
意見交流
教育長挨拶



【特別企画】 チーム名「Blue Voice ～どうしても今、セカイへ伝えたい～」の誕生

今年度、「よこはま子ども国際平和プログラム」史上初めて、プログラム参加者のための「チーム名」を作りました。「チーム名」ができることで、毎年参加している約 4 万人に、次のような効果があると考えます。

- ① 国際平和について、考え、行動した自分に誇りをもつ
- ② 活動終了後も、国際平和に向けて行動し続けられる
- ③ 国際平和のために一緒に行動した仲間意識をもてる

三つの「チーム名」案から、今年度の参加者が投票で選んだのが、「Blue Voice ～どうしても今、セカイへ伝えたい～」

このチーム名を選んだ理由、込められた思いは、「青い空の下、見上げればみんな一緒。みんなで世界に声を届ける。地球の声を聞く。」です。

今年度は、参加者全員（約 4 万 2 千人）に参加賞のステッカーを配布しました。そして、このチーム名は、今後長く使用していく予定です。過去の参加者も、未来の参加者も、チーム Blue Voice の一員となります。

横浜に、国際平和に向けて行動したたくさんの仲間がいると思うと心強く、これからも行動を続けていく力となることを期待しています。



●「よこはま子ども国際平和プログラム」実行委員会

「よこはま子ども国際平和プログラム」の全体の活動を支援するために、市内の公私立小・中・義務教育・特別支援学校の校長先生に御協力をいただき、実行委員会を設置しています。

第 1 回 令和 6 年 4 月 12 日（金）

・実行委員会設置 ・事業内容の審議

第 2 回 令和 6 年 7 月 8 日（月）

・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」実施案の審議
・子どもピースメッセンジャー、子ども実行委員の活動、よこはま子ども国際平和募金について

第 3 回 令和 6 年 7 月 22 日（月）、23 日（火）

・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」の運営・審査

第 4 回 令和 7 年 2 月 19 日（水）

・令和 6 年度事業についての振り返りと令和 7 年度事業計画について

職 名	氏 名	役 職
委 員 長	室伏 健治	横浜市立中学校長会会長・上飯田中学校長
副 委 員 長	大塩 啓介	横浜市立小学校長会会長・獅子ヶ谷小学校長
委 員	鳥越 政晴	横浜市私立中学高等学校長協会代表・サレジオ学院中学校高等学校長
	菊本 純	横浜市立特別支援学校長会会長・日野中央高等特別支援学校長
	大杉 昭雄	横浜市立小学校長会 多文化共生・国際教室研究部代表・いぶき野小学校長
	米盛 司	横浜市立中学校長会代表・栗田谷中学校長
	鈴木 薫	横浜市立中学校英語研究会代表・金沢中学校長
	山本 朝彦	教育委員会事務局学校教育企画部長
事 務 局 長	高橋 義成	教育委員会事務局学校教育企画部小中学校企画課長

「よこはま子ども国際平和フェスティバル」及び「よこはま子ども国際平和プログラム」事業経

昭和61年度(1986)

- ・「よこはま子ども平和フェスティバル」開催（新都市ホール）
- ・平和に関する作文、絵画、歌（作詞・作曲）作品募集
- ・「子ども平和大使」国際連合派遣
- ・アフリカ難民救済基金（7,000ドル）

昭和62年度(1987)

- ・「よこはま子ども洋上平和フェスティバル」開催
- ・「国際平和学習資料」作成・配布
- ・フェスティバルでの決議による福祉活動・募金活動の実施

昭和63年度(1988)

- ・「よこはま子ども平和フェスティバル」開催(横浜文化体育館)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合及びユニセフ派遣
(募金7,959,917円寄託)
- ・世界の平和についての作文募集
- ・「世界の平和についての作文集」作成・配布

平成元年度(1989)

- ・「よこはま子ども国際平和フェスティバル」開催
(横浜博覧会YESホール)
- ・世界の国々の児童生徒との交流(国連国際学校より招待)
- ・世界平和をテーマにしてポスター募集
- ・世界の飢餓に苦しむ子供たちのための啓発・援助活動

平成2年度(1990)

- ・「よこはま子ども国際平和フェスティバル」開催（横浜文化体育館）
- ・ユニセフ東京事務所長チョードリ氏に高秀市長立ち合いのもと、
募金を寄託（4,674,407円）
- ・「子ども平和会議」（パシフィコ横浜）
- ・ボンベイ市、マニラ市、上海市からの児童生徒を招待、交流
- ・マスコットマーク募集
- ・フェスティバルでの決議による募金活動

平成3年度(1991)

- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣
- ・ペレツ・デクエアル国際連合事務総長へ募金を寄託(6,688,238円)
- ・「よこはま子ども国際平和フェスティバル」開催(横浜文化体育館)
- ・「子ども平和会議」(パシフィコ横浜)
- ・バンクーバー市、サンディエゴ市及び国連国際学校の児童生徒を招待、
交流
- ・マスコットマークの愛称募集
- ・フェスティバルでの決議による募金活動

平成4年度(1992)

- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー 国際連合・ユニセフ本部派遣 コフィ・アナン国際連合事務次長補へ募金を寄託(8,200,271円)」
- ・「子ども平和会議」(横浜シンポジウム)
- ・リヨン市、オデッサ市、コンスタンツァ市の児童生徒を招待、交流
- ・「子ども平和まつり」(横浜文化体育館)
- ・「ペレツ・デクエアル前国際連合事務総長講演会」(パシフィック横浜)
- ・フェスティバルでの決議による募金活動

平成5年度(1993)

- ・「よこはま子ども国際平和作文」募集
- ・「よこはま子ども国際平和フェスティバル」開催(横浜文化体育館)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合・ユニセフ本部派遣
ブロス・ブロス・ガリ国際連合事務総長と会見 高秀市長メッセージと
募金などを直接手渡す(8,754,208円)
- ・「ピースメッセンジャー都市子ども平和ミニ会議」開催(国連国際学校)
- ・フェスティバルでの決議による募金活動

平成6年度(1994)

- ・「よこはま子ども国際平和作文」募集
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」リヨン市・国際連合派遣
「よこはまーリヨン平和のモザイク」の共同制作
「よこはまーリヨン子ども平和会議」の開催
「横浜市ーリヨン市姉妹都市提携35周年記念式典」に参加
ブトロス・ブトロス・ガリ国際連合事務総長と会見 高秀市長メッセージと
募金目録を直接手渡す(7,053,059円)
- ・「第9回よこはま子ども国際平和フェスティバル」開催(横浜文化体育館)
- ・「よこはま子ども国際平和作文集」作成・配布
- ・フェスティバルでの決議による平和募金活動

平成7年度(1995)

- ・フェスティバル10周年 戦後50年 国連創設50周年記念事業
- ・「よこはま子ども国際平和作文」募集
ブトロス・ブトロス・ガリ国連連合事務総長と会見 高秀市長メッセージと
募金目録を直接手渡す(6,804,535円)
- ・「よこはま子ども平和会議」開催(横浜シンポジア)
- ・「第10回よこはま子ども国際平和とフェスティバル」開催
(国立横浜国際会議場)
国連国際学校生徒・国連関係者招待
シルビア・ファーマン国際連合事務総長特別補佐官特別講演
横浜市立小学校児童大合唱 組曲「よこはまからあしたへ」
(神奈川フィルハーモニー管弦楽団演奏)
- ・「よこはま子ども国際平和作文集」作成・配布
- ・フェスティバル決議による平和募金活動
- 【特別企画】
- ・よこはま子ども国際平和フェスティバル第10回・戦後50年記念パネル展
- ・「すいとん試食会」開催

平成8年度(1996)

- ・「よこはま子ども国際平和と作文」募集
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣
ブトロス・ブトロス・ガリ国際連合事務総長と会見 高秀市長メッセージと
募金目録を直接手渡す(8,268,762円)
- ・「よこはま子ども国際平和とスピーチコンテスト」開催
(パシフィコ横浜小ホール)
- ・「よこはま子ども平和会議」開催(横浜シンポジア)
- ・「第11回よこはま子ども国際平和フェスティバル」開催
(国立横浜国際会議場)
オデッサ市副市長及び第35学校生徒・教職員招待
- ・「よこはま子ども国際平和フェスティバル〜よこはまから世界へ〜」
ビデオ製作・配布
- ・フェスティバル決議による平和募金活動

平成9年度(1997)

- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣
コフィ・アナン国際連合事務総長と会見 高秀市長メッセージと募金目録
を直接手渡し(7,758,052円)
 - ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
(神奈川公会堂、保土ヶ谷公会堂、戸塚公会堂)
 - ・「第12回よこはま子ども国際平和フェスティバル」開催
(国立横浜国際会議場)
 - ・フェスティバル決議による平和募金活動
- 【特別企画】**
- ・「平和行進曲」彫刻展協賛
 - ・国連職員コースラ団受入れ支援

平成10年度(1998)

- ・「よこはま子ども国際平和プログラム」へ名称変更
- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
(予選:各区/本選:教育文化ホール、西公会堂)
- ・「よこはま青少年ピースメッセンジャー」青少年サミット派遣
(イギリス・バーミンガム市)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣
コフィ・アナン国際連合事務総長と会見 高秀市長メッセージと募金目録
を直接手渡す(7,923,996円)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」の呼びかけによる平和募金活動

平成11年度(1999)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
(予選:各区/本選:教育文化ホール)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣
ルイズ・フレシェット国際連合副事務総長と会見 高秀市長メッセージと
募金目録を直接手渡す(5,393,708円)
- ・「子ども国際交流団」リヨン市派遣 横浜市〜リヨン市姉妹都市提携40周
年記念式典に参加
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」の呼びかけによる平和募金活動

平成12年度(2000)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
(各区審査会/本選:西公会堂)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣
ルイズ・フレシェット国際連合副事務総長と会見 高秀市長メッセージ
と募金目録を直接手渡す(18,791,996円)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」の呼びかけによる平和募金活動

平成13年度(2001)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
(各区審査会/本選:西公会堂)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ駐日事務所、日本ユニセ
フ協会訪問 駐日事務所長 具 三悦(サムエル・クワ)氏と会見 高秀市
長メッセージと募金目録を直接手渡す(13,503,054円)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」第2回子どもの商業的性的搾取に
反対する世界会議への参加
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー会議」の開催 「子どもピースアピ
ール」の作成
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」の呼びかけによる平和募金活動

平成14年度(2002)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
(各区審査会/本選:西公会堂)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ駐日事務所、日本ユニセ
フ協会訪問 駐日事務所長 具 三悦(サムエル・クワ)氏と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣
コフィ・アナン国際連合事務総長と会見 中田市長メッセージと募金目録
を直接手渡す(14,661,177円)
- ・「Say Yes for Children イン ヨコハマ〜ユニセフ親善大使ロジャー・ム
ーア氏を迎えて〜」の開催
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」の呼びかけによる平和募金活動

平成15年度(2003)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
(各区審査会/本選:教育文化ホール)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ駐日事務所、日本ユニセ
フ協会訪問 駐日事務所長 具 三悦(サムエル・クワ)氏と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣
ルイズ・フレシェット国際連合副事務総長と会見 中田市長メッセージと
募金目録を直接手渡す(12,712,435円)
- ・「よこはま国際子ども食料会議」の開催
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」の呼びかけによる平和募金活動

平成16年度(2004)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
(各区審査会/本選:教育文化ホール)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ駐日事務所、日本ユニセ
フ協会、国連広報センター訪問 駐日事務所長 浦元 義昭氏と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣
コフィ・アナン国際連合事務総長と会見 中田市長メッセージと募金目録
を直接手渡す(10,787,935円)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」の呼びかけによる平和募金活動
- ・「スマトラ沖大地震・インド洋津波被害救援募金」の呼びかけ

平成17年度(2005)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
(各区審査会/本選:保土ヶ谷公会堂)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ駐日事務所、日本ユニセ
フ協会訪問 駐日事務所長 浦元 義昭氏と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣
マーク・マロックブラウン国際連合事務総長官房長と会見 中田市長メッ
セージと募金目録を直接手渡す(14,129,319円)
- ・「パキスタン大地震被害救援募金」の呼びかけ
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」の呼びかけによる平和募金活動

平成18年度(2006)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
(各区審査会/本選:教育文化ホール)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセ
フ協会訪問 東京事務所長 浦元 義昭氏と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣
コフィ・アナン国際連合事務総長と会見 中田市長メッセージと募金目録
を直接手渡す(14,534,847円)
- ・「ジャワ島地震救援募金」の呼びかけ
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」の呼びかけによる平和募金活動

平成19年度(2007)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
(各区審査会/本選:教育文化ホール)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセ
フ協会訪問 東京事務所 ダン・ローマン兼任代表と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣
アン・ベネマン ユニセフ事務局長と会見 中田市長メッセージと募金目録
を直接手渡す(17,331,049円)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」の呼びかけによる平和募金活動

平成20年度(2008)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
(各区審査会/本選:教育文化ホール)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセ
フ協会訪問 東京事務所 ダン・ローマン兼任代表と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣
アシャ・ローズ・ミギロ国際連合副事務総長と会見 中田市長メッセー
ジと募金目録を直接手渡す(16,992,563円)
- ・「ミャンマー・サイクロン・中国大地震緊急募金」の呼びかけ
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」の呼びかけによる平和募金活動

平成21年度(2009)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
(各区審査会/本選:教育文化ホール)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセ
フ協会訪問 東京事務所 功刀 純子 日本・韓国兼任代表と会見 林市
長メッセージと募金目録を直接手渡す(17,569,151円)
- ・「子ども実行委員」による平和募金活動

平成22年度(2010)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
(各区審査会/本選:教育文化ホール)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセ
フ協会訪問 東京事務所 平林 国彦 日本・韓国兼任代表と会見 林市
長メッセージと募金目録を直接手渡す(12,307,325円)
- ・「子ども実行委員」による平和募金活動

平成23年度(2011)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
(各区審査会/本選:教育文化ホール)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセ
フ協会訪問 東京事務所 平林 国彦 日本・韓国兼任代表と会見 林市
長メッセージと募金目録を直接手渡す(12,832,231円)
- ・「子ども実行委員」による平和募金活動

平成24年度(2012)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
(各区審査会/本選:西公会堂)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセ
フ協会訪問 東京事務所 平林 国彦 日本・韓国兼任代表と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣
ピーター・ランスキー・ティフェンサル広報担当国連事務次長と会見
林市長メッセージと募金目録を直接手渡す(11,002,673円)
- ・「子ども実行委員」による平和募金活動

平成 25 年度(2013)

- ・「第5回アフリカ開発会議」横浜開催に関連して、「よこはま子どもピースメッセンジャー」等による首脳会議参加各国の首脳・閣僚の出迎え、横浜市議会会議場でのペナン共和国ゾマホン・ルフィン駐日特命全権大使の演説に対する御礼の言葉と花束贈呈等
- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催（各区審査会／本選：西公会堂）
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会訪問 東京事務所 平林 国彦 日本・韓国兼任代表と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣 ピーター・ランスキー・ティフェンサル広報担当国連事務次長と会見 林市長メッセージと募金目録を直接手渡す(11,245,358 円)
- ・「子ども実行委員」による平和募金活動

平成 26 年度(2014)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催（各区審査会／本選：西公会堂）
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会訪問。東京事務所 平林 国彦 日本・韓国兼任代表と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣 ファ・ジャン広報局担当官と会見。林市長メッセージと募金目録を直接手渡す(9,541,620 円)
- ・「子ども実行委員」による平和募金活動

平成 27 年度(2015)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催（各区審査会／本選：西公会堂）
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会訪問。東京事務所 平林 国彦 日本・韓国兼任代表と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣 クリステリーナ ギャラチャー広報担当事務次長と会見 林市長メッセージとピースメッセージを直接手渡す
- ・ユニセフ本部 坂井スオミ 事務局最高顧問に募金目録を直接手渡す(9,767,656 円)
- ・「子ども実行委員」ユニセフハウス見学
- ・「子ども実行委員」による平和募金活動

平成 28 年度(2016)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催（各区審査会／本選：西公会堂）
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会訪問 東京事務所 木村 泰政 代表と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣 潘 基文 国連事務総長に林市長メッセージとピースメッセージを手渡す
- ・ユニセフ本部 オレン・シュライン 事務局上級顧問に募金目録を直接手渡す(9,578,214 円)
- ・「子ども実行委員」ユニセフハウス見学
- ・「子ども実行委員」による平和募金活動

平成 29 年度(2017)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催（各区審査会／本選：西公会堂）
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会訪問 東京事務所 木村 泰政 代表と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣 アリソン・スモール国連広報担当事務次長と会見 林市長メッセージとピースメッセージを直接手渡す
- ・ユニセフ本部 山口郁子事務局上級顧問に募金目録を直接手渡す(9,773,765 円)
- ・「子ども実行委員」ユニセフハウス見学
- ・「子ども実行委員」による平和募金活動

平成 30 年度(2018)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催（各区審査会／本選：西公会堂）
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会訪問 東京事務所 木村 泰政 代表と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣 アリソン・スモール国連広報担当事務次長と会見 林市長メッセージとピースメッセージを直接手渡す
- ・ユニセフ本部 ファトゥマ・ンジャエ事務局次長に募金目録を直接手渡す(9,914,494 円)
- ・「子ども実行委員」ユニセフハウス見学
- ・「子ども実行委員」による平和募金活動

令和元年度(2019)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催（各区審査会／本選：西公会堂）
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会訪問 東京事務所 木村 泰政 代表と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣 ジョアン・マクドナルド国連事務総長特別代表（国連国際学校）と会見 林市長メッセージとピースメッセージを直接手渡す
- ・ユニセフ本部 ハナン・スリエマン副代表及びファヤツ・キング副代表に募金目録を直接手渡す(9,869,608 円)
- ・「子ども実行委員」ユニセフハウス見学
- ・「子ども実行委員」による平和募金活動

令和2年度(2020)

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、よこはま子ども国際平和募金活動以外は中止

令和3年度(2021)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催（各区審査会／本選：ビデオ審査）
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合オンライン交流 中満 泉 国際連合軍縮担当上級代表と会見 ピースメッセージを渡す
- ・ユニセフ本部 パロマ・エスクデロ コミュニケーション局長及び功刀 純子 公的パートナーシップ局長に募金目録を渡す(7,570,984 円)
- ・「子ども実行委員」ユニセフハウス見学
- ・「子ども実行委員」による平和募金活動

令和4年度(2022)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催（各区審査会／本選：南公会堂）
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会訪問 東京事務所 ロベルト・ベネス代表と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣 メリッサ・フレミング国際連合事務次長と会見 山中市長メッセージとピースメッセージを直接手渡す
- ・ユニセフ本部 イサ・アコバ副部長に募金目録を直接手渡す(8,841,519 円)
- ・「子ども実行委員」ユニセフハウス見学
- ・「子ども実行委員」による平和募金活動

令和5年度(2023)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催（各区審査会／本選：南公会堂）
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会訪問 東京事務所 ロベルト・ベネス代表と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣 メリッサ・フレミング国際連合事務次長と会見 山中市長メッセージとピースメッセージを手渡す
- ・ユニセフ本部 ローレン ランブル氏に募金目録を手渡す(9,488,092 円)
- ・「子ども実行委員」ユニセフハウス見学
- ・「子ども実行委員」による平和募金活動

令和 6 年度(2024)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催（各区審査会／本選：南公会堂）
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会訪問 東京事務所 ロベルト・ベネス代表と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣 アミナ・J・モハメッド副事務総長と会見 山中市長メッセージとピースメッセージと募金目録を手渡す(7,298,347 円)
- ・「子ども実行委員」ユニセフハウス見学
- ・「子ども実行委員」による平和募金活動
- ・「よこはま子ども国際平和シンポジウム」初開催（横浜市庁舎アトリウム） 山中市長挨拶 アミナ・J・モハメッド副事務総長からのメッセージ放映

発行

よこはま子ども国際平和プログラム実行委員会事務局
横浜市教育委員会事務局学校教育企画部小中学校企画課内

〒231-0005 横浜市中区本町 6-50-10 TEL 045-671-3588

この事業は、株式会社オカムラ様・横浜冷凍株式会社様・ウエインズトヨタ神奈川株式会社の御協力をいただいて実施しています。